

令和5年度 第1回 大久保東小学校運営協議会 議事録

日 時 令和5年5月26日（金）10:00～11:30

場 所 さいたま市立大久保東小学校 会議室（南校舎2階）

参加者	元大久保東小学校 PTA 会長	山崎 栄慈（副会長）（欠席）
	地域学校協働活動ファシリテーター	新井 優子
	上大久保中学校長	高久 正行
	埼玉大学 教授	船橋 一男（欠席）
	図書ボランティア代表	唐澤 厚美
	チャレンジスクール実行委員長	高田 稔
	民生委員・児童委員	片山 加代子
	大久保地区民生委員・児童委員	遠藤 功
	下大久保自治会長	江口 友久
	大久保東公民館館長	南 崇子
	大久保東児童センター館長	小室 美香
	大久保東小学校 P T A 会長	渡部 秀之（会長）
	校長	目黒 良作
	教頭	山田 裕明
	学校地域連携コーディネーター	安藤 盛光

○ 委嘱状交付・自己紹介・会長・副会長の指名

1 開会【教頭 山田 裕明】

2 挨拶

学校運営協議会会長 渡部 秀之 様

本校校長 目黒 良作

3 令和5年度学校運営について

学校長より

- ・授業改善について
- ・生徒指導及び教育相談体制について
- ・開かれた学校づくりについて
- ・教職員研修と働き方改革について

4 【熟議】

○学校ボランティア、大久保東小学校 P T A 活動の再編成について

学校ボランティアがいくつかあるが、中心になってやっている方のお子さんが卒業したり、いくつかのボランティアを掛け持ちしていたりする様子が見られるため、一度整理する必要がある

る。場合によっては、PTA活動とかかわってくる仕事もあるかもしれないので、各ボランティア団体の推進者とPTA本部役員と集まってボランティア内容を再編成するとよい。

→6、7月で一度集まって、意見をまとめ検討していきます。

○家庭での学習習慣について

家庭で学習をする習慣を身に付けるために、学校から継続して音読や計算カードは、家庭で子どもの様子を把握する面でもありがたい。家庭でも声掛けを行っていくためにも、自主学習についても継続して宿題として学校から出してもらえると、家でも声をかけやすい。連絡帳にかいていないと子どもの曖昧な返事でやらなくてもよいとなってしまうと、親から子へ宿題の声掛けが曖昧になってしまい、家庭での学習習慣が身に付かない。家庭での学習習慣を身に付けるという点からも宿題は、継続してだしてもほしい。

→学年の実態に応じて、宿題を継続していきます。

○公民館や児童センターでの児童の様子

大久保東公民館や大久保東児童センターを利用する児童の数が、大変多いのが特徴である。児童同士のかかわりも、よく見られる。家庭や学校で見せない顔が、公民館や児童センターで見られることもあるかもしれない。公民館や児童センターでとてもよくお手伝いをしてくれる児童も多くいる。今後も児童の様子を見守っていきたい。

○シルバー人材の活用

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昔遊び体験に参加できなくなってしまったが、昔遊び体験だけでなく、地域について詳しい方がたくさんいる。児童が学校に通っていないくとも、昔からこの地域にお住まいの方に声をかけ、ボランティアに参加していただくことも検討していく必要がある。

5 閉会【教頭 山田 裕明】